

平成19年度 電力需給状況

需要の概要

平成19年度の販売電力量は、292億6千9百万kWh時、前年比 103.9%となった。

〔需要の内訳〕

家庭用などの「電灯」は、前年に比べ、8月後半から9月の気温が高めに、また、1月から2月の気温が低めに推移し、空調需要が増加したことなどから、前年比 103.5%となった。

事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は、「電灯」と同様の気温要因などから、前年比 104.1%となった。

産業用の「大口電力」は、紙・パルプなどが前年を上回ったことから、前年比 106.8%となった。

需要実績

(百万kWh時、%)

		電力量	前年比
特定規模需要 以外の需要	電 灯	9,651	103.5
	電 力	2,056	99.5
	計	11,707	102.8
特定規模需要 (自由化対象)	業務用電力	6,440	104.1
	産業用電力	11,122	105.1
	うち大口電力	(8,696)	(106.8)
	計	17,562	104.7
販売電力量 計		29,269	103.9
融 通		7,868	112.6

注：特定規模需要は、特別高圧電力および高圧電力の合計。

大口電力の主な産業別内訳

(百万kWh時、%)

	電力量	前年比		
		19年度	18年度	17年度
紙・パルプ	1,859	125.6	107.5	109.2
化 学	1,726	100.2	104.8	105.9
鉄 鋼	927	102.1	95.3	100.7
機 械	1,771	105.1	104.1	105.2
その他	2,413	103.0	107.0	102.2
合 計	8,696	106.8	104.6	104.6

供給の概要

- 原子力は、前年に比べ定期検査日数が減少したことにより前年比 104.8%となった。
- 水力は、湯水により前年比 71.0%となった。
- 火力は、需要の増や水力の減などにより前年比 111.4%となった。

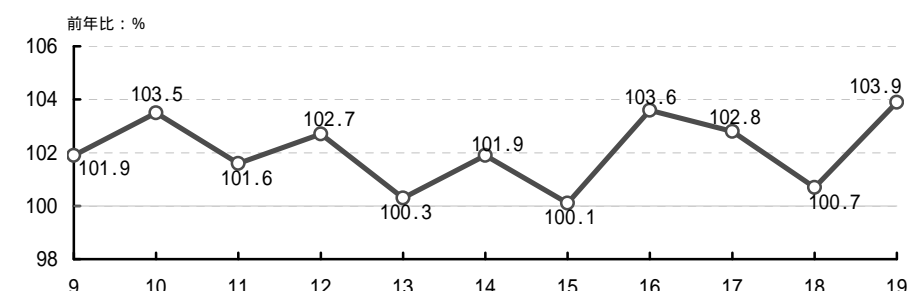
供給実績

(百万kWh時、%)

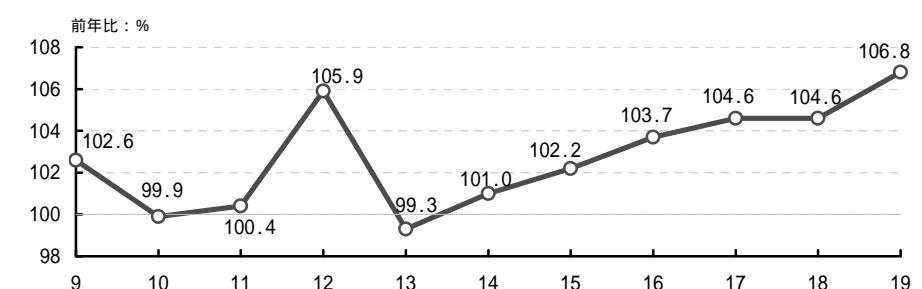
		電力量	前年比	備 考
原子力	(38)	15,415	104.8	出水率 75.2% (18年度出水率 97.1%)
水 力	(6)	2,549	71.0	
火 力	(55)	22,653	111.4	
新エネ	(1)	280	163.2	
発受電計	(100)	40,897	105.4	
その他		195		
供 給 計		40,702	105.6	

注：()内は構成比

(参考1) 販売電力量の前年比の推移



(参考2) 大口電力の前年比の推移



(参考3) 4県都平均気温

		7月	8月	9月	7～9月
夏季	実績	25.9	28.8	26.9	27.2
	平年差	0.6	1.5	3.1	1.3
	前年差	1.0	0.1	2.7	0.5
		1月	2月	3月	1～3月
冬季	実績	6.3	5.5	10.6	7.5
	平年差	0.5	0.6	1.3	0.4
	前年差	1.1	3.5	0.2	1.4

(参考4) 各県別の需要状況

(百万kWh時、%)

		徳 島	高 知	愛 媛	香 川
販売電力量計	(101.9)	(102.4)	(106.0)	(103.8)	
	6,527	4,757	10,401	7,584	

注：()内は前年比